
みっつの御面

シャー芯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みつつの御面

【Nコード】

N9665I

【作者名】

シャー芯

【あらすじ】

被害妄想に取り憑かれた時の詩。

綺麗に言わせてください。
美しい言霊に救われたい。

でも、後ろには、
いつも、みつつの御面。

ひとつの御面、おはなしです。
「うそつき」と、私を睨むのです。

ひとつの御面、おはなしです。
口から血を吐き、目を白くさせるのです。

ひとつの御面、おはなしです。
蟬で固まったように、重く動きません。

私の後ろにいつも付き纏い、
ただじっと待っている様です。

私が笑ったら、ひとつの御面、
目の前で死んで見せるのです。

私が笑ったら、ひとつの御面、
目の前で泣いて見せるのです。

私が笑ったら、ひとつの御面、
後ろからそっと首を掴むのです。

なにを、してようと、
いつも、みつつの御面が離れない。

嗚呼、言葉に救われたい。
彼らは私が殺したんだ。

みつつの御面は、
死んだ彼らの最期の姿。

いつも私の脳にべつとりと纏います。
ごめんなさい、ごめんなさい。

みつつの御面、耳は憑いていません。
けど、言わせてください。

「うそつき」 そうでしょう、きっと。
否定しません、だから、もう。

吐血し、目を白くして睨む。
私にはどうすることも出来なかった。

ただ、後ろに立ち尽くす。
本当に、ごめんなさい、みなさん。

せめて、綺麗に繕い祈らせて下さい。
せめて、美しい呪いであって下さい。

でも、こうしてる時も、
みつつの御面は私に言うのです。

「あなたが死ぬべきだった」

と。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9665i/>

みっつの御面

2010年12月14日17時14分発行